

異校種（小・中学校）教員による授業参観 【3回目】

令和4年10月18日（火）第5校時
中山小学校 1年1組 菅原 千絵教諭
「国語」じどう車くらべ



「せつめいする 文しょうを よもう」（教材名）に対して、子どもたちは、文の表現に着目してサイドラインを引いたり、挿絵と文を照らし合わせたりしながら説明文にかかっている内容を一生懸命理解しようとしていました。また、ペアグループでの話し合いを通して、自分の考えを確認しながら考えを深めていました。

〔参観者（小・中学校教諭）の感想〕

- 教科書の出てくる言葉を身近なものに例えて指導している点は、とても面白いと思いました。言葉を体感させることで、子どもたちは”この言葉”を一生忘れないだろうと思いました。
- 言葉と絵と線でつなぐ、動作化するなどの効果的な指導を通して、楽しく学習し理解していました。

令和4年10月26日（水）第5校時

伊草小学校 2年1組 山田 卓教諭

道徳

「オレンジ色の木の実」 きまりをまもろう



「約束を守ること」について、心のバロメータ（赤と青の丸い色画用紙を重ねたもの）を使い、子どもたち一人ひとりの心情を大切にしながら、話し合い活動を通し深い学びに結び付けようとしていました。そして、「他人に迷惑をかけずに生活することがよりよい生活につながることを理解させ、約束を守ろうとする態度を養おう」としていました。

[参観者（小・中学校教諭）の感想]

○葛藤場面では、子どもたちの多様な発言を引き出し（揺さ振り）議論を深めていました。

○心のバロメータを使い、子どもたち一人ひとりの心情を把握し、その変容を認めていました。

○子どもの発言を基にめあてを設定し、子どもたちが主体的に主題に迫れるようにしていました。